

学長のコラム

三大学合同進学説明会について

沖縄と佐世保・長崎地域に対して、三大学合同進学説明会をするようになって今年で3年になる。沖縄は6/7(木)15:00~17:00 那覇国際通り近くの県教職員共済会館で実施。9校の進路指導教員に参加していただいた。本学単独で行っても、これだけ多くは集められないし、加えて、崇城大、学園大が雇用配置している沖縄担当の入試広報職員(校長退職者)の力も大きい。30分ずつのプレゼンのトップバッターは学園大で、吉田副学長が九州一美しいキャンパス(?)を強調された。東アジア言語学科長は、航空、観光会社等への就職の良さを訴えられた。熊保大は、小生が海外留学奨学生制度、提携寮を提供できること、高い国家試験合格率と就職率100%など大学の概要を紹介しつつ、人間力教育に力を入れていることを強調した。続いて水野さんが入試制度を説明し、最後に石垣島出身の松原准教授(PT)が、リオパラリンピックの車椅子マラソン支援に関するホンダ等との共同研究の成果として、1秒差でメダルを逃したので東京でメダルを目指すこと、肥後銀行の女子駅伝部を支援する教員チームの紹介など、研究力もアピールした。

最後の崇城大は、中山学長が「入学して目的意識の希薄な学生に対して“学生の心に火をつける!”仕組み」を力説された。入試課長の説明の中心は、崇城大独自の特待生「ミライク」の説明である。入試の成績により、授業料を4年間無料にする(プレミアム)、または、授業料を国立大より安い50万円にするという「ミライク50」というもので、今年は入学者の7人に1人は、この奨学金を受けているというからすごい。このために数億円使っていると思われ、その財力が羨ましい。

会後の個別相談では、石垣島からの教員と話し、「STを希望しているが、いずれは石垣島に帰りたいという学生に、『それならより就職口の幅が広い看護』を勧めたが正しかっただろうか?」などという質問があったが、「島に帰るのが条件なら、適切な指導でしょう。」と申し上げた。その日の夜は、沖縄郷土料理店で反省会を兼ねた懇親会(3大学12名参加)で話が弾んだ。お互いのプレゼンが参考になり、次年度の改善に繋がっているとの発言があった。

佐世保・長崎は6/12(火)、6/13(水)にホテルであったが、本学からは池寄講師(ST)と小村さんが同行。学園大は幸田学長、崇城大は、厚山副学長(佐世保)、中山学長(長崎)がプレゼンをした。佐世保は、2~3日前まで参加は2校との情報であったが、崇城大の現地事務所長(校長OB)のご尽力で8校9名になっていて安堵。長崎には東西南北を含む主要校18校が参加されており、熱が入った。佐世保を別個に開催するか、今後の検討課題ではある。



6月・7月・8月の主な行事予定

6/29(金)	アクティブラーニングワークショップ	7/31(火)	前期定期試験(予備日含む)7/31~8/8
7/1(日)	進学ガイダンスセミナー2018(大学コンソーシアム熊本) 東海大	8/3(金)	助産別科臨地実習適格認定書授与式
	大邱保健大学・コンケン大学交換研修生受入7/1~7/14	8/10(金)	職員夏期休暇(8/10~8/16)
7/7(土)	認定看護師教育課程	8/19(日)	第2回オープンキャンパス
	脳卒中リハビリテーション看護分野 入学試験	8/24(金)	第1回情報セキュリティ研修会
7/22(日)	第1回オープンキャンパス	8/26(日)	チャレンジ熊保大! 推薦入試対策講座
7/27(金)	前期授業終了(学部・助産別科)	8/30(木)	教職員旅行(日帰りコース)

平成30年度 第1回 新任教員によるお披露目講演会

5月18日(金)に「新任教員によるお披露目講演会」を開催しました。本年1月以降に着任された講師以上の先生方に、自己紹介を含めた教育・研究についてご講演いただきました。発表後には専門的な内容の質疑も活発に行われ、有意義な講演会になりました。今回の講演内容は以下のとおりです。(文責：人事課)

発表者	所属	テーマ
川口 辰哉 教授	医学	熊大での4半世紀で学んだPNH、CML、そして感染制御
上妻 行則 准教授	医学	私と研究
井崎 基博 准教授	リハ	発達障害の研究、発達障害の教育
田中 恵理 講師	共通	英語教育とアイルランド文学研究の抱負

インカレ壮行会

6月14日(木)お昼休み、第68回九州地区大学体育大会(九州インカレ)壮行会を開催しました。本学から参加する夏季大会競技は、バスケットボール(男女)・バドミントン(男子)・バレーボール(女子)・サッカー(男子)・ソフトテニス(男子)です。崎元学長および学友会会長からの激励の言葉に、学生たちも気が引き締まったことでしょう。頑張ってください!(文責：学務課)



認知症予防サポートチーム in 熊保大の活動報告

地域の高齢者に対する第2回認知症予防教室が、5月22日に終了しました。最終日は、教室参加の効果判定のための計測を実施し、修了証の授与式も行いました。参加者も学生ボランティアもすっかり親しくなり、名残惜しそうな様子で継続を希望する声も多々聞かれました。今後は、今回のようなゲームや机上課題を主とした内容に加え、運動により認知機能低下を予防する教室を計画しています。(文責：認知症予防サポートチーム in 熊保大)



ごみゼロ推進活動証書を受けました

～Think globally, Act locally～

看護学科4年次4名が、公衆衛生看護学実習にて約3週間滞在した水俣市より、ごみゼロ推進活動証書を授与されました。これは、マイ箸やマイ水筒など環境にやさしい滞在を行うごみゼロ推進活動(通称：マイマイ運動)に取り組んだことがきっかけです。

水俣市の教訓を生かし、住民が主体となったゼロ・ウェイストのまちづくり宣言を行い、環境モデル都市として歩んできた水俣市。地球環境を考え、日々の暮らしを見つめ直す良い機会となりました。(文責：看護学科 荒木善光)



コンケン大学交換研修生

6月1日(金)～14日(木)まで、コンケン大学の交換研修生4名が本学に滞在しました。滞在期間中は、熊本赤十字病院、デイサービススぼぼろ、われもこう等の施設見学の他、講義受講、日本語研修、文化体験、天草及び市内観光等をしていただき、本学の学生とも充実した交流が図られました。(文責：国際交流委員会)



花と食の祭典

5月3日(木祝)～4日(金祝)株式会社フードパル熊本主催の「花と食の祭典」に今年も参加しました。花と食の祭典の名に相応しく、構内には様々な種類のバラと軽食を販売するお店が軒を連ねており、訪れる人々で賑わっていました。この中で本学は、医学検査学科が体成分測定、骨密度測定、血管年齢測定を、リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻がことばのチェック、飲み込みチェックを行いました。1日目は170名、2日目には226名の方が本学のコーナーを訪れ、測定を受けられました。(文責：地域連携委員会事務局)



保健室 ～学外実習と保健室～

平成29年度は延べ1805名の学生が保健室を利用しました。保健室利用の7割強は「健康相談・生活相談および指導」であり、その内訳の大半は「ワクチン接種」についてです。これは、保健室が学生および教職員の心身の健康サポートだけでなく、学生の学外実習や就職に絡む検診証明書等の支援を行っていることに拠ります。

近年、実習学生を受け入れるにあたり、感染予防の観点から、麻しん・風しん・ムンプス(流行性耳下腺炎)・水痘・B型肝炎などの「抗体検査結果」および「ワクチン接種報告書」の提出を必要とする医療機関が増えています。しかし、医療機関ごとにその基準が異なるため、必然的にワクチン報告書の種類が多岐にわたっています。1年次の健康診断で抗体価検査を行い、来る学外実習に向け、ワクチン接種等の準備を始めますが、実習先によってはさらに追加の抗体価検査や過去のワクチン接種歴が必要となることもあります。

保健室ではこのような現状を踏まえ、学生への全体指導および個別指導を年間を通して行っています。中には、経済的または時間的に余裕がなく、予防接種のための受診が困難な学生もいます。学生への指導やフォローのためにメールや電話で来室を促しますが、なかなか応答がなく苦戦することも多々あります。ともあれ、今後も保健室では学生の皆さんが学外実習をスムーズにスタートできるように支援していきます!

追伸 季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。皆さまご自愛ください。

